

主張発表九州大会 IN 菊池

～九州地区商工会女性部交流研修会～

こん に ち は

大分県商工会女性部連合会ニュース
第58号
平成19年10月1日
発行
大分県商工会女性部連合会
大分市金池町3-1-64
☎097(534)9507



あいさつする全女性連未武会長



発表者後藤政子さん

大分県商工会女性部連合会(秦勝子会長)は、六月二十六日(二十七日)、熊本県菊池市の菊池市文化会館において開催された九州商工会女性部交流研修会に参加しました。

同時開催の主張発表九州ブロック大会では、大分県代表の佐伯市直川女性部後藤政子さんが「特産品にける夢女性部と地域が一体に」と題して発表。後藤さんは、青年部女性部活力増進事業で、B級品のピーマンを活用した粉末ピーマンの開発に取り組んだ内容をエピソードを交え、表現力豊かに発表し、見事に優秀賞を受賞しました。

今年度、ハイレベルな主張内容となってきたおり、今年も甲乙つけがたいものでした。また、交流会ではアトラクションとして、大分県から本耶馬溪町女性部長の荒巻恵子さんが「大江戸喧嘩花」をプロ顔負けの歌唱力で披露しました。二日目の講演会は、熊本市文化財専門相談員の富田紘一先生が、『熊本城築城四百年の歴史について』と題して講演。続いて、九州ルーテル学院大学の潮谷愛一教授が『二十一世紀に向けての女性のあり方』と題して講演しました。潮谷教授の奥様は現熊本県知事であり、その知事を支えるのは、主夫業をする自分だと、ご家庭での様子をユーモア交えながらお話になり



大分県からの参加部員



発会式でグループ協議中のメンバー

各グループのテーマ等一覧表(下表)

今年度青年部・女性部では、新規事業として、「リーダー育成塾」に取り組んでいます。県内を三ブロック(県北・県央・県南)に分け、地域の資源を活かした活性化を図っていく手法について、具体的な構想を立てながら学ぶ中で、そのノウハウを活かした地域づくりを実践するリーダーを育成しようというものです。

青年部・女性部 地域リーダー育成塾

女性には長寿の秘訣があることなど実例に基づき講演され、興味深い内容に部員は真剣に聞き入っていました。地元菊池市女性部員のおもてなしに感謝しながら、あらためて、女性のパワーを力強く感じた有意義な二日間でした。

国見町商工会女性部(江原加代子部長・部員二十八人)は、昨年度取り組んだ青年部女性部活力増進事業『若い人達の出逢いの場提供』からの継続事業として、今年度は、シニアを対象としたお見合いシリアーズの第一弾となる「茶友会」を、

カップル 成立なるか? 青年部・女性部 活力増進事業から

～国見町女性部
シニアお見合い「茶友会」～

七月二十二日(日)国見温泉「あかねの郷」にて開催しました。参加者は、十八人(男女九vs九)、最高齢は七十歳から最年少は四十代までと幅広い年齢層少々緊張した面持ちの自己紹介から始まり、タオルくくりリレーや輪ゴム渡し等のゲームで一気に参加者たちの気持ちは、和やかムードに……。打ち解けたところで、フリータイム。そして、いよいよ告白タイムへ。さて、何人の女性が男性から贈られる花を受け取るのでしょうか?一同ドキドキ見守る中、見事!四組成立しました。おめでとーございます。



フリータイムで盛り上がる参加者

国見町商工会女性部は今後も積極的に実施する予定で、第二弾は十二月開催予定だそうです。
★お問い合わせ先
国見町商工会事務局
☎0978-8210147

平成19年度 地域リーダー育成塾テーマ等概要

ブロック	リーダー	サブリーダー	事務局	テーマ	実施内容
県北青年部	山本 昌輝 (国東町)	神田 毅 (杵築市)	国東町	地域資源活用による地域活性化	観光資源を中心とした、資源を掘り起こし、それを集客力に結びつける。また、自分の地域を見つめなおし、これから地域活動にとりくむ。
県央青年部	菊池 尚志 (庄内町)	梅木 淳司 (九重町)	庄内町	農業等他業種との連携による地域活性化	工業・小売業等の業種間での開きがある。また、異業種の交流が少ない。これからの地域づくりには、他の業種(農業等)との連携を図っていく必要がある。
県南青年部	渡邊 憲二 (千歳村)	小深田 聡 (緒方町)	千歳村	地域資源を活用、地域に人を呼び込む仕組みづくり	豊肥地区には、人を呼び込むための強力な魅力ある地域資源がなく、単なる通過点となっている地域が多い。地域の資源を見直し、豊肥それぞれの地域に人を呼び込む仕組みと体制づくりについて考える。
県北女性部	山永千鶴子 (山国町)	吉村 香予 (本耶馬溪町)	山国町	明日の下毛地域の活性化	地域活性化には地域資源の活用が重要であり、下毛地域に豊富な観光資源をより有効に活用するために、地域環境の問題点とその改善に向けての地域商工業のあり方を模索する。
県央女性部	小野 初枝 (湯布院町)	時枝富士子 (九重町)	湯布院町	女性リーダー発、スローフードによる地域づくり	自然と特産品に恵まれた地域であること、また温泉地でもおいしいことから、ぜひ食をみなおしたい。スローフードという郷土料理という和のテイストにどうしても落ち着いてしまうが、今回は、和洋中問わず、各地域の特産品を使用して、これまでにない感覚のものを作りだし、食を中心とした賑わいの場を創出し、自分たちの地域活動につなげたい。
県南女性部	富松 誠子 (佐伯市米水津)	風戸 恵子 (佐伯市弥生)	佐伯市米水津	「海と山の交流」～お互いの地域をみつめて～	行政合併後の佐伯市で、臨海部と山間部では、地域性が異なり、お互いの交流も乏しい。そこで、臨海部と山間部の塾生が自分の地域を見つめ直し、他方の地域の良さを発見することにより、相互交流の方策を模索していく。

BLOCK INFORMATION

だぶロック



県南 佐伯市蒲江商工会女性部

河内手打ちうどんの復活と地域おこし

蒲江の河内地区には、昔から行事のある毎に、ふるまわれていた太麺の手打ちうどんが食されてきました。

地粉でうどんを作り、だし汁は、地場のイリコと椎茸で取るだけのものです。薬味は、ネギ、生姜、胡麻だけの本場に素朴なつけ麺です。

河内地区の経験者から伝授し、今後は地域の行事のある事に復活させていきたいと考えています。



河内地区老人会との試食会

この事業が商工会女性部と地域の人たちとの交流にきつと役立つものと思っております。

スパイア

～疲労回復のツボ編～

今年の夏は暑くてうんざりでしたね。でも、やっと秋がそこまで……季節の変わり目は疲れが出やすいのでそんな時のツボをご紹介します。



足の裏を親指から小指にかけてもむ

手の裏を親指から小指にかけて指間部もむ



七夕飾りが商店街を賑わしています

皆さんこの時期に一度、心に描くふるさとのまち「国東の海・山・里」へ足を運んでみませんか？

国東町女性部は、今年七月五日から十五日まで商店街のにぎわいの一つとして、七夕かざりで地域活性化活動に参加しています。

県北B

国東町商工会女性部

商店街ににぎわいを！

国東町女性部は、今年七月五日から十五日まで商店街のにぎわいの一つとして、七夕かざりで地域活性化活動に参加しています。

女性部のみならず地域の人たち、事業所全体の自立的参加で五支部の商店街がそれぞれアイデアをしぼり出し、この時期「七夕シーズンの到来」という事で各支部商店街は活気が漲っています。

豊肥

久住町商工会女性部

「めじろん」看板作成で国体ニエール

商店街の活性化の一環として、手作りの「ウエルカムボード」を店頭に掲げることから始まったボード作りを、女性部の有志により、高齢者や子供や地域住民が安心して暮らせるよう、竹田市内の保育園や学校周辺、危険な場所や交差点等に「交通安全」や「飛び出し注意」の看板を設置。また、来年に迫ったお国体のマスコットキャラクター「めじろん」の看板も作成し、国体が成功するようエールを送っています。



設置しためじろんの看板

このほど、女性部の後藤慶子さんによって、木工品、野菜、花等を売る新名所「ウッドストリート」が誕生し、女性部員みんなで応援しています。

久大

野津原町商工会女性部

宿場町再現にチャレンジ

旧野津原町には四百年前に造られた熊本城から大分市鶴崎までの参勤交代道の豊後街道(別名・肥後街道)が歴史的資源として残っています。今年度これを地域活性化のキーにしようという活力増進事業を青年部と共同で実施しています。

この街道には二つの宿場町(野津原宿と今市宿)があり近郊随一の繁栄をみたとされています。今市には六百六十メートルの石畳が今も残っており当時の面影を偲ぶことができます。現在、「宿場町再発見」をテーマに旧街道の正確な地図づくりと宿場料理の掘り起こしに取り組んでいます。乞うご期待を！



県北A

山国町商工会女性部

生ごみからのリニューアル

当女性部では、18年度より山国川の源流を守るため、粉殻くん炭やぼかしを使い生ごみを土に戻す活動を積極的に進めています。肥料作りを実施している各々の家庭菜園や花壇では草の勢いも良いのですが、素晴らしい野菜作りを楽しむ事が出来ます。19年度より活力増進事業の補助金を利用し、調査事業班、戦略班、環境班と三つの班毎の取組みの中、環境班は駐車場の女性部花壇のリニューアルに取り組みました。家庭で余った生ごみの肥料を花壇に入れ、元気で綺麗な花を眺める事ができます。快適空間作りも生ごみ活用の一歩ですね。



素敵にリニューアルした花壇

女性部員増強(仲間づくり)運動から

まず、女性部員の方1人が1人に声かけ(勧誘)運動

強化期間10月～12月

県女性連では、今年度も3ヶ月間全女性連と一体となって、増強運動に取り組んでいます。

【部員増強の考え方】

新規部員の獲得

- 役員配偶者の加入促進
- 会員勧誘とセットで部員勧誘
- 独自イベントで参加者への勧誘
- 青年部配偶者の勧誘
- 仲の良い友達勧誘
- 習い事教室での勧誘

まず、既存部員の連帯!!

- 県内女性部員1,970人が
- みんなで地域は商工会女性部が元気になる、という共通認識をもつ
- みんなで同じ「手帳」と「カード」を持つ
- みんなで祭り事業等を盛り上げる など

女性部活動の充実

合併後は…
「新商工会」=広域的活動
「旧商工会」=地域的活動
女性部員自身が楽しめる独自イベントの企画立案。みんなが参加したくなるもの。そして自分も楽しく活動できるものが地域の他人(ひと)も楽しめる。

女性部に魅力を感じることから、部員増につながる

情報アラカルト

10月1日から雇用保険の受給資格要件が変わります

平成19年10月1日以降の離職者から雇用保険の基本手当を受給するには、週所定労働時間の長短にかかわらず、原則、12カ月(各月11日以上)の被保険者期間が必要です。

※但し、倒産・解雇等により離職された方は6カ月(各月11日以上)で可。

車いす募金へのご協力ありがとうございました。

募金総額 560,200円

地域での小さな活動が大きな力をうみます。女性部員皆様方のご協力に感謝いたします。

